

【冊子情報詳細】

様式ver.2.1

専門研修プログラム名	函館渡辺病院連携施設 精神科	専門研修プログラム
基幹施設名	社会医療法人 函館博栄会 函館渡辺病院	
プログラム統括責任者	三國 雅彦	

専門研修プログラムの概要	本プログラムは一生涯、地域で精神科臨床に専念したいという熱意のある精神科専攻医の方々が単に診断・治療ができるだけでなく、様々な患者の状態や置かれた環境、人権保護に関わる法的な問題、経済的な問題などを勘案した総合的な判断に基づく対応ができる医師としての基本的診療能力を習得できるように構成されている。地域での精神科医療、精神保健を実際に担っている精神科病院での臨床に重点を置きつつ、当院が協力型研修施設となっている北海道大学と東京医科大学の2大学病院、都立松沢病院と国立精神・神経医療研究センター病院の2精神科高度専門医療研究施設、ならびに精神科リエゾンに特化した市立函館病院と協議してそれぞれの利点を生かす形で準備し、各専攻医の多様なニーズに対応可能となるように構成したプログラムである。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	「こころと身体のトータル医療」の実践をモットーとし、全国的にも稀な精神科主体のいわゆる総合病院であり、一般的な精神科単科病院では経験しにくい精神科リエゾンを同じ施設の指導医や多職種チームメンバーと実践することができる。また、当院では北大医学部生のコア科臨床参加型実習や市内の総合病院の初期研修医の精神科臨床研修を病院全体で担当している。このように教育を通じて自己研鑽している指導医や多職種チームメンバーに交じって専攻医が多数症例の診断治療に当たり、医学生や初期研修医と一緒に症例を経験しながら教育に関与し、教えながら学ぶ姿勢で臨床経験を深めることができる。	
	修得すべき知識・技能・態度など	【経験できる症例】 ほぼ全ての精神疾患群を網羅しており、アルコール依存症や覚せい剤後遺症などについては依存症プログラムを実施している。 【技能・治療法】 患者への面接の仕方や診療、リエゾン精神医学、mECT療法、クロザピン療法、デイケアや集団精神療法、作業療法などの多職種との協働による心理社会的治療、薬物療法 【その他】 併設する認知症疾患医療センターでの症例や医療観察法指定通院医療機関に基づく症例

専攻医の到達目標	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	初期研修医や指導医とともにワン・チームとなって、主治医として受け持ち患者の診療を担うとともに、多職種とのチーム医療を実践し、症例ごとのチームカンファレンスでも中心的な役割を担うことによって、チーム医療を主体的に実践する経験を深め、相互の研鑽を図っていくことができる。
	学問的姿勢	医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽・自己学習することが求められる。全ての研修期間を通じて与えられた症例を院内の症例検討会で発表することを基本とし、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味ある症例については北海道精神神経学会や東京精神医学会等での発表や医学雑誌などへの投稿をしていく。常に行われている多数の臨床研究に参加することもでき、専攻医のうちから最先端の研究に携わることができる。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	【基本的診療能力（コアコンピテンシー）】 1) 患者との治療関係の構築 2) 多職種チーム医療の実践 3) 安全管理 4) 症例プレゼンテーション技術 5) 医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解 【倫理性・社会性】 ・医の倫理性・社会性に関する研修会への参加 ・リエゾン活動への参加を通じた身体科との連携を持つことによつての医師としての責任や社会性、倫理性を涵養し、多くの先輩医師や他の医療スタッフからも多くを学ぶ機会を得る。

施設群による研修プログラムと地域医療についての考え方	年次毎の研修計画	【1年目】専攻医は基幹施設からでも連携施設からでも研修をスタートする選択が可能であり、基幹型施設では地域での患者を指導医とともに受け持ちながら、面接の仕方、診断と治療計画、薬物療法及び精神療法の基本を学ぶ。 【2年目】主に基幹施設で、指導医の指導を受けつつ、自立して多数の症例を経験し、診断学や治療学を深め、薬物療法や精神療法の技術を向上させ、精神科救急の経験を積む。 【3年目】指導医から自立して診療できるようにする。主治医としての責任感を持ち、診断学や治療学に磨きをかけ、薬物療法や精神療法を自分のものとして洗練させていく。身体合併症や精神科救急に特化した領域のチームに加わったり、多職種との協働による社会復帰、地域支援、就労支援に特化した領域のチームに加わったりする。
	研修施設群と研修プログラム	研修施設群となっている各大学や精神科高度専門医療研究施設で進めている臨床研究、基礎的な生物学的精神医学研究にも触れて、論理的な思考方法の訓練を受けることができる。
	地域医療について	函館市を含む道南圏における精神科基幹的病院として地域の医療機関や他の精神科病院・メンタルクリニックと連携し診療を行っており、紹介・逆紹介の症例は豊富である。精神科救急医療体制も担っていることから、精神科急性期対応を学ぶことができる。
専門研修の評価	1) 評価体制 専攻医に対する指導内容は、統一された専門研修記録簿に時系列で記載して、専攻医と情報を共有するとともに、プログラム統括責任者およびプログラム管理委員会で定期的に評価し改善を行う。 2) 評価時期と評価方法 ・3ヵ月ごと：カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専門医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。 ・6ヵ月ごと：研究目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれに評価し、フィードバックを行う。 ・1年後：1年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。	
修了判定	函館渡辺病院理事長、プログラム統括責任者並びに連携施設の責任者がプログラムの進行状況・評価とともに審議を行った上で委員会へ上申され、修了を判断する。	

専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	専攻医の採用と修了に係る審議・承認 専攻医の研修状況の管理・改善 専攻医への指導内容の確認・評価 研修プログラムの改善			
	専攻医の就業環境	各施設の労務管理基準に準拠			
	専門研修プログラムの改善	基幹病院の統括責任者、プログラム担当者と連携施設の指導責任者による委員会にて定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。			
	専攻医の採用と修了	函館渡辺病院理事長、プログラム統括責任者並びに連携施設の責任者が履歴書などの記載内容と面接結果に基づき厳正な審査を行った上で委員会へ上申され、採用の適否を判断する。			
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	函館渡辺病院理事長、プログラム統括責任者並びに連携施設の責任者が事例ごとに審議を行った上で委員会へ上申され、実施の適否を判断する。			
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	各施設の研修指導医が研修指導状況に関する意見を交換し、各自の教授法の振り返りと改良を図るためのフィカルティー・ディベロップメント（FD）を年1回、プログラム管理委員会が開催する。新たに資格を得た指導医にはコーチング、フィードバック技法、振り返りの促しなどの技法講習を受講させる。プログラム統括責任者は研修施設群の専門研修指導医に対して講習会の修了やFDへの参加記録などについて管理する。			
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、役職を記述してください。	1）三上 昭廣 精神科 理事長 2）三國 雅彦 精神科 副理事長・名誉院長 3）塚本 典子 精神科 4）久保田 修司 精神科 副理事長				
Subspecialty領域との連続性	各連携施設にて児童精神医学・司法精神医学・精神療法・社会精神医学の習得が可能、より専門的な精神科医としての素養を深める。				
	雇用形態： 常勤・非常勤	常勤	常勤の場合、任期の有無		無
	給与：月額または年額いずれか	月額（円）		年額（円）	8,000,000～ 11,000,000

専攻医の処遇（基幹施設） （※任意記入） （※新規申請の場合は必須）	諸手当：当直、 時間外、賞与、 その他	当直手当	平日¥20,000/回 半日休¥30,000/回 日・祝¥40,000/回 ※指導医のもと2名での当直時は1/2 ※精神科救急指定は加算あり		
		時間外手当	年俸に含む(みなし残業代として月額¥42,000)		
		賞与	年俸に含む		
		その他	3月に別途期末手当支給の場合あり		
	健康保険（社会 保険）：組合・ 共済・協会・国 保	協会			
	医療賠償責任保 険の適用：病院 加入・個人加入	病院加入			
	勤務時間	月～金8:45～13:00 14:00～17:00 土8:45～13:00			
	週休	4週5休制			
	休暇（年次有 給・夏季休暇） 例；有給20日 夏季休暇3日など	年次有給休暇 20日間（年間） 夏季休暇 7日間※6月～11月までの6ヶ月			
	時間外勤務(時間外手当を給付するもの)：有・無			有	
	当直回数 例；月〇回、年 〇回など	月2回			
	勤務上限時間の 設定：有・無	無	有の場合		
	雇用形態： 常勤・非常勤		常勤の場合、任期の有無		
	給与：月額また は年額いずれか	月額（円）		年額（円）	
	諸手当：当直、 時間外、賞与、 その他	当直手当			
		時間外手当			
		賞与			
		その他			
	健康保険（社会 保険）：組合・ 共済・協会・国 保				

専攻医の処遇（連携施設） （※任意記入） （※新規申請の場合は必須）	医療賠償責任保険の適用：病院加入・個人加入			
	勤務時間			
	週休			
	休暇（年次有給・夏季休暇） 例；有給20日 夏季休暇3日など			
	時間外勤務(時間外手当を給付するもの)：有・無			
	当直回数 例；月〇回、年〇回など			
	勤務上限時間の設定：有・無		有の場合	
詳しい専門研修概要（冊子）URL	http://www.hakodatewatanabe.or.jp/hakueikai/joboffer/senko-i/pdf/senko-i_kensyu2.pdf			

函館渡辺病院

週間計画

	月	火	水	木	金
8:45～12:00	病棟業務	病棟業務	入退院検討会	病棟業務	病棟業務
		外来予診	デイケア	外来予診	外来予診
		外来陪診	病棟業務	外来陪診	外来陪診
13:00～14:00					
14:00～15:00	病棟業務	リエゾン診療	病棟業務	リエゾン診療	病棟業務
	チームカンファレンス・回診				チームカンファレンス・回診
16:00～17:00	系統講義	訪問診療	系統講義	作業療法	系統講義
	論文抄読				

年間計画

月	内 容
4月	オリエンテーション 1年次専攻医研修開始 2年次、3年次専攻医研修報告書提出 指導医研修実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会 参加 北海道精神科医会講演会 参加
7月	北海道精神神経学会 参加
8月	
9月	北海道精神科医会講演会 参加
10月	
11月	北海道精神科医会講演会 参加
12月	北海道精神神経学会 参加
1月	
2月	北海道精神科医会講演会
3月	研修プログラム評価報告書の作成 1年次、2年次、3年次専攻医研修報告書作成

市立函館病院

週間計画

	月	火	水	木	金
8:30～9:00	救急病棟カンファレンス・ラウンド	救急病棟カンファレンス・ラウンド	救急病棟カンファレンス・ラウンド	救急病棟カンファレンス・ラウンド	救急病棟カンファレンス・ラウンド
9:00～12:00	リエゾン診療 緩和ケア外来診療	リエゾン診療 緩和ケアチームカンファレンス・ラウンド 呼吸器病棟カンファレンス	リエゾン診療 ICUカンファレンス・ラウンド 救急病棟身体的拘束最小化カンファレンス	リエゾン診療 整形外科/脳神経外科病棟カンファレンス 脳神経内科/耳鼻咽喉科病棟カンファレンス	リエゾン診療 緩和ケアチームカンファレンス・ラウンド
13:00～17:00	リエゾン診療 (不定期)骨髄移植カンファレンス	リエゾンチームカンファレンス 循環器病棟カンファレンス リエゾン診療	リエゾン診療 消化器病棟カンファレンス ブリーフセラピー勉強会 (月1回)重症患者意思決定支援チーム会議	認知症ケアチームカンファレンス・ラウンド (月1回)緩和ケア委員会 (月1回)リエゾン高齢者ケア委員会	リエゾン診療 ICU意思決定支援カンファレンス

年間計画

月	内 容
4月	オリエンテーション
5月	
6月	日本精神神経学会・日本緩和医療学会参加(任意)、北海道精神科医会講演会参加(任意)
7月	北海道精神神経学会参加(任意)、緩和ケア研修会参加(ファシリテーター担当)・(任意)
8月	日本緩和医療学会北海道支部学術大会参加(任意)
9月	日本老年精神医学会参加(任意)、北海道精神科医会講演会参加(任意)
10月	日本サイコオンコロジー学会参加(任意)
11月	日本総合病院精神医学会・道南医学会参加(任意)、北海道精神科医会講演会参加(任意)
12月	北海道精神神経学会参加(任意)
1月	日本総合病院精神医学会無床フォーラム参加(任意)
2月	北海道精神科医会講演会参加(任意)
3月	論文執筆、研修報告書作成

- ※ 学会参加(上記以外の学会も可)(原則、一般演題発表を行う)は指導医と相談して決める。うち1つは論文にして函館医学誌等に投稿する。
- ※ 認知症ケア研修会(院内全職員対象)が年5回、リエゾン研修会(道南地域にも広報)が年3～4回あり、うち何回かは講師を担当する。
- ※ 各病棟や各部署単位でのミニ勉強会を要望されるので、適宜講師を担当する。上記以外の病棟にも不定期でカンファレンス参加を要望される。
- ※ 月例医学研究会(著名な講師を当院で招聘し、道南地域にも広報)が年10回程度ある(うち2～3回はリエゾン関係の講師)。参加は任意。
- ※ 他、リエゾン/認知症ケア関連の研究会(道南地域対象)が年複数回ある(1回は講師を担当する)。
- ※ 月1回、原則第3金曜夜に、北海道地域緩和ケア研修会(通称:どさんコロジー)がハイブリッド開催されており、当院は道南地域のサテライト会場を担当している。また、年1回は当院が当番幹事を引き受けている。参加は任意。
- ※ 就業時間が週40時間を超えないよう、指導医と相談の上で適宜調整する

北海道大学病院

週間計画

	月	火	水	木	金
08:30～09:30		クルズス(気分障害／薬物依存)	症例検討会	クルズス(統合失調症／てんかん)	症例検討会
09:30～12:00	外来業務(初診陪席)	外来業務(初診陪席)	リエゾン(初診／再診)	病棟業務／緩和ケア陪席	外来業務(初診陪席)
13:00～14:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	デイケア研修	病棟業務
14:00～15:00	グループカンファレンス		病棟レクリエーション		
15:00～16:00	総回診		病棟業務		
16:00～17:00	症例検討会 医局会	クルズス(薬物療法／児童精神医学／司法精神医学)	クルズス(臨床心理学／認知機能・臨床統計学)	クルズス(老年精神医学／リエゾン・器質性精神障害)	クルズス(神経症／精神療法／社会福祉制度)
17:00～18:30	リサーチカンファレンス (月1)		教室行事(Web講演会)		

年間計画

月	内 容
4月	オリエンテーション
5月	北海道精神科認知リハビリテーション研究会参加
6月	日本精神神経学会学術総会 参加 緩和ケア研修会 参加
7月	北海道精神神経学会例会 参加・演題発表 デイケアサマーツアー参加
8月	精神神経学会主催サマースクール参加 精神病理クリニカルカンファレンス参加
9月	
10月	北海道認知行動療法センターワークショップ参加 北海道精神医学オータムセミナー参加
11月	
12月	北海道精神神経学会例会 参加・演題発表
1月	
2月	日本心身医学会北海道支部例会 参加・演題発表
3月	卒業発表

東京医科大学病院

週間計画

	月	火	水	木	金	土
8:45～	病棟カンファレンス					
9:00～	予診 外来陪席	予約外診療	病棟業務 リエゾン	関連病院にて勤務	予約外診療	病棟業務 リエゾン
12:00～	抄読会参加	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
13:00～	病棟業務	病棟業務 リエゾン	外来業務	関連病院にて勤務	病棟業務 リエゾン	カンファレンス
14:00～	教授回診					
15:00～	病棟業務 リエゾン	リエゾン 病棟業務	外来業務	関連病院にて勤務	リエゾン 病棟業務	
16:30～17:00	症例検討会・消毒	リエゾン 病棟業務			リエゾン 病棟業務	
夜間			関連病院にて当直		救急診療 夜間病棟	

※いずれの施設においても、就業時間が40時間/週を超える場合は、専攻医との合意の上で実施される。原則として、40時間/週を超えるスケジュールについては自由参加とする。

年間計画

月	内 容
4月	オリエンテーション 院内クルズ参加(5月以降も適宜実施、計12コマ)
5月	
6月	院内安全研修参加 日本精神神経学会学術総会参加(発表)
7月	日本神経精神薬理学会年会(任意)
8月	
9月	
10月	
11月	院内安全研修参加 東京精神医学会学術集会参加
12月	
1月	社会精神医学会(任意)
2月	
3月	東京精神医学会学術集会参加

院内研修は他にも不定期に実施される(診療報酬、ハラスメント等)。
学会には指導医と相談のうえで参加不参加を決める。業務に支障のない範囲で他の学会にも積極的に参加することが望まれる。

東京都立松沢病院

週間計画

	月	火	水	木	金
08:30～09:30	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診	病棟ミーティング 病棟回診
09:30～12:00	病棟業務	外来初診	病棟業務	病棟業務	病棟業務
12:00～13:00	クルズス				
13:00～17:00	病棟業務 病棟カンファレンス	病棟業務	病棟業務	外来再診	病棟業務
	16:30～17:00 ケースカンファレンス	17:00～17:30 医局会			16:30～17:30 外来カンファレンス
18:00～20:30		集談会・講演会(月1回)			

年間計画

月	内 容
4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加
7月	東京精神医学会学術集会参加(任意)
8月	
9月	日本生物学的精神医学会年会(任意)
10月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 日本臨床精神神経薬理学会年会(任意)
11月	日本総合病院精神医学会総会参加(任意) 東京精神医学会学術集会参加(任意)
12月	
1月	
2月	2年目専攻生東京医師アカデミー研究発表
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 東京精神医学会学術集会参加(任意)

国立精神・神経医療研究センター病院

週間計画(一般精神科)

	月	火	水	木	金
8:30～13:00	多職種による病棟カンファレンス 病棟・外来診察	多職種による病棟カンファレンス 病棟・外来診察 部長回診(隔週)	多職種による病棟カンファレンス 病棟・外来診察 外来予診・部長診陪席 部長回診(隔週)	自己学習 または 保健所等訪問診療 または 病棟・外来診察	多職種による病棟カンファレンス 病棟・外来診察
14:00～17:00	病棟・外来診察 気分障害、不安障害勉強会	抄読会(12:00～13:00) 病棟・外来診察 病棟ケースカンファレンス 精神科医局症例検討会(月1回)	病棟・外来診察 (病棟集団CBT) 統合失調症研究会(月1回)	自己学習 または 保健所等訪問診療 または 病棟・外来診察	病棟・外来診察 光トポ判読会 統計セミナー(月1回)
17時以降	てんかんカンファランス (精神・小児神経・脳外科合同)	総合医局症例検討会(2カ月に1回) 精神医学セミナー(月1回) 臨床病理検討会(月1回) ブレインカッティング(月1回)		てんかんカンファランス (精神・小児神経・脳外科合同)	

週間計画(医療観察法)

	月	火	水	木	金
8:30～13:00	病棟回診 病棟業務(*1)	病棟回診 病棟業務(*1)	病棟回診 病棟業務(*1)	自己学習 または 保健所等訪問診療 または 病棟・外来診察	病棟回診 患者ミーティング
14:00～17:00	医療観察法病棟担当医師会議 治療評価会議(*2)	病棟業務(*1) 倫理会議(月2回)(*3)	病棟業務(*1) 運営会議(月1回)(*4)	自己学習 または 保健所等訪問診療 または 病棟・外来診察	病棟業務(*1)
17時以降		医局事例検討会(月1回)	精神鑑定事例研究会(月1回)		

*1 病棟業務の内容

- ・多職種チーム会議・面接の実施(医師・看護師・作業療法士・心理士・精神保健福祉士の5職種による各患者の担当チームの会議・チームと患者を交えた面接)
- ・CPA会議への参加(患者および家族・患者の担当多職種チーム・患者の帰住先地域の支援関係者による会議)
- ・医療観察法病棟内で実施している治療プログラムへの参加(疾病教育、物質乱用防止教育、内省プログラム、SST、NEARなど)

*2 全入院患者について前週の治療経過・社会復帰調整状況・外出泊の可否などを病棟関係者全体で評価、検討する。

*3 非同意治療、身体拘束、m-ECT・クロザピン導入などの可否について、2名の外部委員とともに評価、検討する。

*4 病院幹部に対し前月の治療評価会議・入退院状況を報告し、入院継続・退院許可など裁判所への提出書類への承認を得たり、治療ステージ変更・外出泊などの可否について検討したりする

年間計画

月	内 容
4月	オリエンテーション 1年目専攻医研修開始 2・3年目専攻医前年研修報告書提出 指導医の指導実績報告書提出
5月	
6月	日本精神神経学会学術総会参加 医療観察法関連職種研修参加 司法精神医学会参加(任意)
7月	東京精神医学会学術集会参加(任意)
8月	精神医学サマーセミナー 日本うつ病学会学術集会参加(任意)
9月	1・2・3年目専攻医研修中間報告書提出 医療観察法指定入院医療機関 机上研修 日本生物学的精神医学会年会(任意) 東京精神医学会学術集会参加(任意)
10月	日本てんかん学会学術総会参加(任意) 日本臨床精神神経薬理学会(任意)
11月	日本総合病院精神医学会総会参加(任意) 日本臨床神経学会学術総会参加(任意)
12月	医療観察法上級研修会参加
1月	
2月	
3月	1・2・3年目専攻医研修報告書作成 専攻医まとめの会 院内研究発表会 東京精神医学会学術集会参加(任意) 日本臨床精神神経薬理学会(任意)

函館渡辺病院連携施設精神科専門研修プログラム

	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
パターンA	函館渡辺病院	函館渡辺病院	北海道大学病院
	基幹施設	基幹施設	
	1年	1年	1年
パターンB	東京医科大学病院	函館渡辺病院	北海道大学病院
		基幹施設	
	1年	1年	1年
パターンC	北海道大学病院	函館渡辺病院	東京医科大学病院
		基幹施設	
	1年	1年	1年
パターンD	東京医科大学病院	函館渡辺病院	函館渡辺病院
		基幹施設	基幹施設
	1年	1年	1年
パターンE	函館渡辺病院	東京医科大学病院	北海道大学病院
	基幹施設		
	1年	1年	1年
パターンF	都立松沢病院	函館渡辺病院	函館渡辺病院
		基幹施設	基幹施設
	1年	1年	1年
パターンG	国立精神・神経医療研究センター病院	函館渡辺病院	都立松沢病院
		基幹施設	
	1年	1年	1年
パターンH	函館渡辺病院	東京医科大学病院	国立精神・神経医療研究センター病院
	基幹施設		
	1年	1年	1年
パターンI	函館渡辺病院	市立函館病院	函館渡辺病院
	基幹施設		基幹施設
	1年6ヵ月	6ヵ月	1年

※上記ローテーションパターンは一例であり、個別の対応も可能。